

世界大学オリエンテーリング選手権(WUOC)2022 報告書

現地帯同スタッフ 伊藤 樹





























1. 大会概要

大会名：FISU World University Orienteering Championships(以下 WUOC)

開催地：Magglingen – Biel, Switzerland

参加国：28 か国(以下の表を参照、Bulletin4 より引用)

表 1. 参加国および参加者数

Country	Men	Women	Officials	Team Size
 Australia	6	6	2	14
 Austria	4	4	2	10
 Belgium	5	2	1	8
 Brazil	2	2	4	8
 Bulgaria	4	3	2	9
 Canada	1	0	0	1
 Czech Republic	5	5	3	13
 Denmark	3	4	1	8
 Spain	4	4	2	10
 Finland	6	6	2	14
 France	6	6	4	16
 United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	6	6	2	14
 Germany	5	4	2	11
 Hong Kong, China	4	4	2	10
 Hungary	6	4	2	12
 Ireland	1	2	1	4
 Israel	1	0	0	1
 Italy	2	2	1	5
 Japan	6	6	2	14
 Nepal	1	1	3	5
 Norway	6	6	2	14
 New Zealand	6	3	1	10
 Poland	4	4	3	11
 Switzerland	6	6	3	15
 Slovakia	4	3	2	9
 Sweden	6	6	3	15
 United States of America	5	6	1	12
 Ukraine	4	2	0	6
<b>Total</b>	<b>119</b>	<b>107</b>	<b>53</b>	<b>279</b>

## 2. 代表選手、出場種目

表3.選手の名前、所属および出場種目

	氏名	所属	出場種目
男子	小牧 弘季	筑波大学大学院	スプリント、スプリントリレー、ロング、リレー
	朝間 玲羽	東京大学卒	スプリント、スプリントリレー、ミドル、リレー
	永山 遼真	筑波大学	スプリント、ロング、リレー
	平岡 丈	京都大学	ミドル、ロング、リレー
	伊藤 元春	東京大学大学院	ミドル、ロング、リレー
	本庄 祐一	東京大学	スプリント、ミドル、リレー
女子	伊部 琴美	名古屋大学卒	スプリントリレー、ミドル、リレー
	松本 萌恵	神戸大学	スプリント、スプリントリレー、ロング、リレー
	阿部 悠	実践女子大学卒	スプリント、ロング、ミドル、リレー
	大栗 由希	筑波大学大学院	ミドル、ロング、リレー
	長瀬 麻里子	お茶の水女子大学	スプリント、ミドル、ロング、リレー
	上島 じゅ菜	お茶の水女子大学	スプリント、リレー

スタッフ：伊藤 樹、宮本 知江子

## 3. 大会日程、日本チームのスケジュール

表2. 遠征日程

日時	内容
8月10日	スイス到着
8月11日	現地トレーニング
8月12日	現地トレーニング
8月13日	現地トレーニング
8月14日	現地トレーニング
8月15日	大会受付
8月16日	モデルイベント
8月17日	スプリント、開会式
8月18日	ロング
8月19日	スプリントリレー
8月20日	ミドル
8月21日	リレー、閉会式
8月22日	宿舎出発、解散

#### 4. 大会結果

スプリント(2022年8月17日、男子90名、女子84名出走)

男子：3.4km ↑ 20m

順位	氏名	国名	タイム
1	Jonatan Gustafsson	Sweden	11:30
2	Timo Suter	Switzerland	11:38
3	Colin Kolbe	Germany	11:53
37	Hiroki Komaki	Japan	12:55
58	Ryo Asama	Japan	13:44
67	Yuichi Honjo	Japan	14:00
79	Ryoma Nagayama	Japan	15:07

女子：3.0km ↑ 20m

順位	氏名	国名	タイム
1	Eline Gemperle	Switzerland	11:47
2	Inka Nurminen	Finland	12:06
3	Cecile Calandry	France	12:09
36	Moe Matsumoto	Japan	13:22
58	Yu Abe	Japan	14:37
64	Mariko Nagase	Japan	15:12
—	Juna Kamijima	Japan	did not start

ロング(2022年8月18日、男子85名、女子80名出走)

男子：14.0km ↑ 470m

順位	氏名	国名	タイム
1	Fabian Aebersold	Switzerland	1:18:43
2	Simon Imark	Sweden	1:19:14
3	Mathieu Yves Perrin	France	1:19:31
53	Jo Hiraoka	Japan	1:39:03
54	Hiroki Komaki	Japan	1:40:08
63	Ryoma Nagayama	Japan	1:48:28
74	Motoharu Ito	Japan	2:04:04

女子：10.8km ↑ 290m

順位	氏名	国名	タイム
1	Katrin Müller	Switzerland	1:13:01
2	Ida Haapala	Finland	1:16:47
3	Anu Tuomisto	Finland	1:17:27
50	Yu Abe	Japan	1:37:38
75	Mariko Nagase	Japan	2:12:10
77	Yuki Oguri	Japan	2:27:00
—	Moe Matsumoto	Japan	mispunched

スプリントリレー(2022年8月19日、23か国出走)

女子(1走、4走) : 3.3km ↑ 10m、男子(2走、3走) : 3.8km ↑ 10m

順位	国名	タイム	区間順位	合計タイム	順位
1	<b>Switzerland</b>			<b>50:39</b>	
	1. Deborah Stadler	13:05	4	13:05	4
	2. Timo Suter	12:14	2	25:19	2
	3. Tino Polsini	12:28	2	37:47	1
	4. Eline Gemperle	12:52	1	50:39	1
2	<b>Sweden</b>			<b>51:22</b>	
	1. Vilma von Krusenstierna	12:57	1	12:57	1
	2. Jonathan Gustafsson	12:09	1	25:06	1
	3. August Mollén	13:16	10	38:22	3
	4. Tilda Östberg	13:00	2	51:22	2
3	<b>Finland</b>			<b>51:34</b>	
	1. Elisa Mattila	12:59	2	12:59	2
	2. Teemu Oksanen	12:55	7	25:54	3
	3. Tuomas Heikkilä	12:25	1	38:19	2
	4. Inka Nurminen	13:15	3	51:34	3
10	<b>Japan</b>			<b>57:04</b>	
	1. Moe Matsumoto	13:53	7	13:53	7
	2. Hiroki Komaki	13:33	12	27:26	9
	3. Ryo Asama	14:33	14	41:59	10
	4. Kotomi Ibe	15:05	12	57:04	10

ミドル(2022年8月20日、男子87名、女子85名出走)

男子：4.8km ↑ 320m

順位	氏名	国名	タイム
1	Viktor Svensk	Sweden	32:10
2	Simon Imark	Sweden	32:25
3	Mathieu Yves Perrin	France	33:14
57	Ryo Asama	Japan	42:55
70	Yuichi Honjo	Japan	48:35
71	Jo Hiraoka	Japan	50:48
77	Motoharu Ito	Japan	53:56

女子：3.7km ↑ 250m

順位	氏名	国名	タイム
1	Ida Haapala	Finland	31:09
2	Katrin Müller	Switzerland	31:12
3	Elisa Mattila	Finland	31:43
45	Yu Abe	Japan	39:59
61	Kotomi Ibe	Japan	45:54
70	Mariko Nagase	Japan	52:53
79	Yuki Oguri	Japan	59:41

リレー(2022年8月21日、男子22か国、女子20か国出走)

男子：7.0~7.3km ↑ 230m

順位	国名	タイム	区間順位	合計タイム	順位
1	<b>Sweden 1</b>			<b>1:59:50</b>	
	1. Simon Hector	40:28	1	40:28	1
	2. Simon Imark	42:11	9	1:22:39	4
	3. Viktor Svensk	37:11	1	1:59:50	1
2	<b>Switzerland 1</b>			<b>2:01:03</b>	
	1. Pascal Buchs	40:51	2	40:51	2
	2. Timo Suter	41:33	7	1:22:24	3
	3. Fabian Aebersold	38:39	2	2:01:03	2
3	<b>Finland 1</b>			<b>2:01:31</b>	
	1. Teemu Oksanen	42:53	11	42:53	11
	2. Aaro Aho	39:52	1	1:22:45	5
	3. Topi Syrjäläinen	38:46	3	2:01:31	3
13	<b>Japan 1</b>			<b>2:25:24</b>	
	1. Hiroki Komaki	42:23	6	42:23	6
	2. Yuichi Honjo	52:26	16	1:34:49	15
	3. Jo Hiraoka	50:35	14	2:25:24	13
—	<b>Japan 2</b>			<b>mispunched</b>	
	1. Nagayama Ryoma	54:22			
	2. Asama Ryo	mispunched			
	3. Ito Motoharu	—			

女子：5.6～5.8km ↑ 180m

順位	国名	タイム	区間順位	合計タイム	順位
1	<b>France 1</b>			<b>1:55:12</b>	
	1. Maelle Beauvir	39:04	8	39:04	8
	2. Florence Hanauer	38:10	3	1:17:14	5
	3. Cécile Calandry	37:58	1	1:55:12	1
2	<b>Switzerland 1</b>			<b>1:55:18</b>	
	1. Eliane Deininger	37:45	3	37:45	3
	2. Sofie Bachmann	38:47	5	1:16:32	4
	3. Katrin Müller	38:46	2	1:55:18	2
3	<b>Sweden 1</b>			<b>1:55:23</b>	
	1. Vilma von Krusenstjerna	39:01	6	39:01	6
	2. Klara Axelsson	37:20	1	1:16:21	2
	3. Frida Vikström	39:02	4	1:55:23	3
—	<b>Japan 1</b>			<b>mispunched</b>	
	1. Yu Abe	mispunched			
	2. Kotomi Ibe	51:45	15		
	3. Moe Matsumoto	51:56	15		
—	<b>Japan 2</b>				
	1. Nagase Mariko	54:39			
	2. Oguri Yuki	58:20			
	3. Juna Kamijima	did not start			



## 5. 総括

2022年度の世界大学オリエンテーリング選手権は、スイスのマグリンゲンにて、8月15日から8月21日の日程で開催されました。

今回の代表メンバーは例年通り、インカレの実績と日本ランキング、及び4月に開催された選考会の結果を踏まえて、男女各6人計12人選考しました。

日本チームの成績については上記にまとめた通りです。各種目の日本最高順位者に注目すると、例年の成績と比較しても良い順位を獲得しており、本大会では良い成績を取ることができたと判断できます。特にスプリント種目では、先の日程で開催された世界選手権(今年はスプリント競技のみ実施)にも出場した選手が出場し、個人種目30位台、スプリントリレー種目10位という、秀でた成績を取ることができました。フォレスト種目の結果も含めこれらの今年の結果は、次回大会以降の日本チームの目標設定の良い指標になるのではないかと思います。

結果の要因としては、今年のトレインは地形植生ともに日本のトレインとの違いが小さかったため本番トレインに対応できたのではないかと考えられます。しかしそれ以上に、選手それぞれに大会で結果を残すという意識があり、大会に向けてそれぞれの取り組んだ成果であると思います。今回結果が伴わなかった選手もここまで取り組んできた自分を労い、一連のWUOCの遠征を経験として消化して、今後のそれぞれの挑戦に活かしてください。

今回遠征期間中チーム内にコロナ感染者を出してしまい、本人及びチームのメンバー含め、各方面の方々に多くの心配とご不便をお掛けしてしまったことに関しまして、自身の未熟さうえの不十分な諸々の対応も含め、深くお詫び申し上げます。深く反省し、今後の再発防止等取り組みに努めたいと思います。

最後になりましたが、セレクションや壮行会、合宿などご尽力いただきましたJOA関係者の皆様、技術委員会の関係者の皆様、そして日本から選手に熱い声援を送ってくださった皆様にこの場をお借りして感謝を申し上げます。